

令和6年10月16日

食料科学委員会 畜産学分科会（第26期・第4回）議事録要旨

1. 日時 令和6年10月16日（水）16:00～18:00
2. 場所 ビデオ会議
3. 出席 木村直子（二部会員）、栗田浩、内尾こずえ、笠嶋快周、後藤貴文、新村毅、平井静、宮本庸平、安尾しのぶ、山下恭広（連携会員）、小澤壮行（連携会員（特任））
4. 議事
木村直子委員長が以下の進行を務めた。
 - (1) 定足数の確認
出席人数が定足数を満たし、分科会は成立した。
 - (2) 前回（第26期・第2回および第3回）の議事録案の承認
第26期・第2回および第3回分科会の議事録要旨案を確認後、承認された。
 - (3) 審議事項
 - A. 公開シンポジウムの企画・実施について
第133回日本畜産学会大会（岐阜大学、令和7年9月開催予定）での開催を検討している公開シンポジウム（事前配信資料3）の概要について山下委員より説明があり、意見交換を行った。
笠嶋委員より、別の公開シンポジウム案として「（仮）日本の在来馬の成り立ち、種の保存」の内容が説明された。令和7年前半の開催を目指して、年内を目処に趣意書を提出することが了承された。
 - B. 意思の表出（主として提言、見解、報告）の作成について
木村委員長より、意思の表出の種類や作成の手順についての説明があった。畜産学分科会より平成22年2月2日に発出された記録「畜産物のはたす役割（食肉、乳、卵、蜂蜜）」、平成29年6月21日に発出された報告「畜産学の特性に配慮した教育・研究課題」の内容を共有した上で、今後の意思表出の可能性について意見交換を行った。
 - (4) 報告事項
 - ・総会、幹事会、第二部会、食料科学委員会の活動報告
木村委員長より、必要に応じて資料共有することが周知された。
 - (5) その他
 - ・次回の分科会の開催について
令和7年1-2月を候補として、次回の分科会の日程調整を行うことが確認された。

配信資料

10月15日事前配信：

0. 食料科学委員会畜産学分科会（第26期・第4回）議事次第
00. 食料科学委員会畜産学分科会（第26期・第4回）説明スライド

1. 食料科学委員会畜産学分科会委員名簿 更新版
2. 資料1：食料科学委員会畜産学分科会（第26期・第2回）議事録要旨（案）
3. 資料2：食料科学委員会畜産学分科会（第26期・第3回）議事録要旨（案）
4. 資料3：R7(2025)年度公開シンポジウム趣意書（日本畜産学会との共催）
5. 資料4：2010年・記録・畜産物のはたす役割（食肉、乳、卵、蜂蜜）
6. 資料5：2017年・報告・畜産学の特性に配慮した教育・研究課題・飼育動物の安定的利活用を目指して
7. 資料6：2015年・報告・大学教育の分野別質保証・大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準・農学分野
8. 【補足】第26期第2回畜産学分科会議事メモ
9. 【補足】第26期第3回畜産学分科会議事メモ
10. 【補足】2024年学術会議東北地区会議_公開学術講演会「東北地方の持続可能な食料生産のこれから～畜産業、水産業」

本分科会の開催にあたって、日本学術会議事務局第二部担当、増田能伸さんが陪席された。

以上